

美杉だより

第45号
平成26年1月1日

発行:美杉総合支所

担当:地域振興課
電話:272-8080

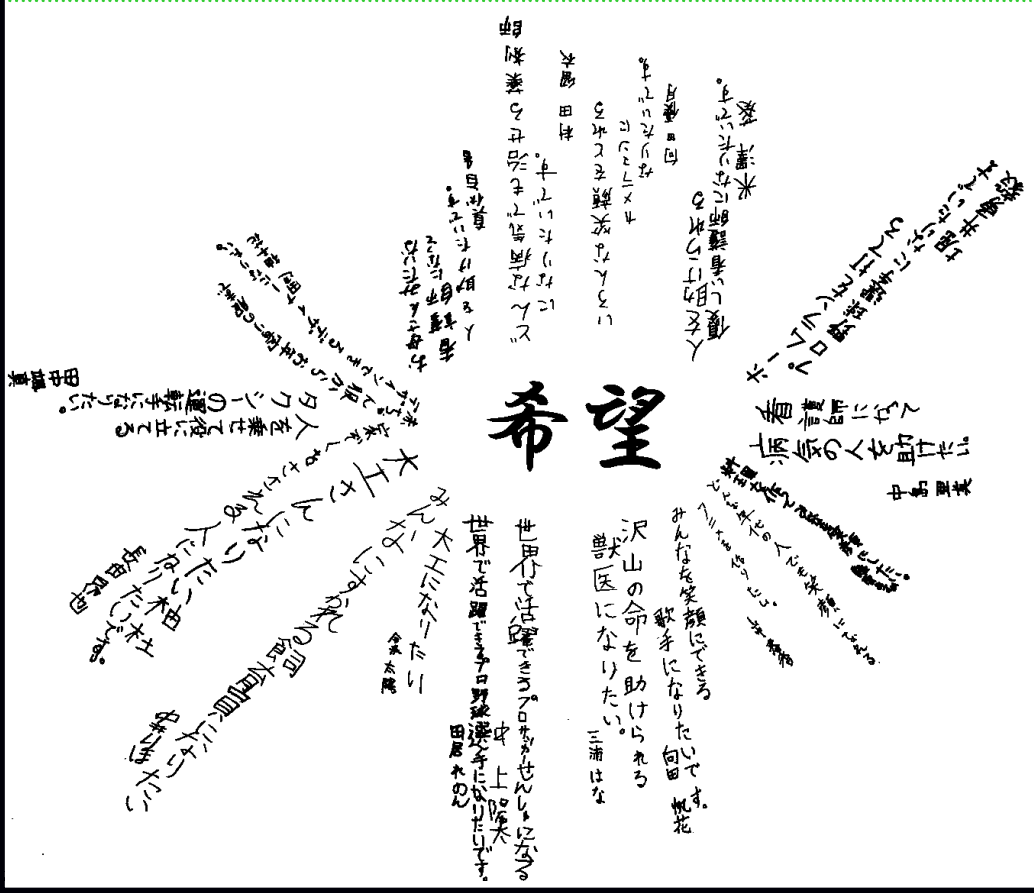


迎春

目次

12歳の寄せ書き	1
新春インタビュー	2
各地区の 秋まつり・文化祭	3
歴史の郷ウオーク と芝桜の植栽	3
北畠神社庭園 ライトアップ	3
津市美杉総合文化 センター建築工事 の進捗状況	4
美杉町チャリティ ゴルフ実行委員会 から地区社協へ寄贈	4
小津安二郎 作品上映会	4
民生委員・児童委員 委嘱式	5
退任民生委員・ 児童委員へ感謝状	5
美杉中 「ふるさと遠足」 を実施	6
子ども人権 フォーラムを開催	6
健康づくりウオーク	7
君ヶ野湖畔 セラピーウオーク	7
JR名松線の利活用 を考えるオープン ディスカッション	8
防災メモ	9
美杉人権を 考えるつどい	9
津市自主防災協議会 美杉支部避難計画 策定研修事業	9
お知らせ	10

新しい年を迎えるにあたり、美杉小学校5年生の皆さんに、将来の夢を寄せ書きにさせていただきました。いつまでも夢を追い続ける元気な「美杉の宝」に育ってくれるよう、地域で見守っていただければと思います。



新春インタビュー

新しい年を迎え、60歳になられた横川惣吾さんと24歳になられる黒木涼さんに、昨年の思い出、美杉のふるさと自慢、今年の抱負とこれからの人生への夢を語っていただきました。

横川 惣吾さん (60歳)

昨年の12月に60才になられた横川惣吾さんに、今年の抱負などをお聞きしました。

横川さんは、現在、10人の会員で活動する「八十六石まこもの集い」の代表を務められ、休耕地を活用したまこもの栽培の普及と販路の拡大に取り組んでおられます。

昨年中に最も印象に残ったことは、「まこもやほうれん草の作付けが軌道に乗ってきたこと」だそうです。これらの農産物は、「奈良や大阪方面の青果市場に出荷し、久居や名張、御杖村で直売もしている」ということです。「まこもやほうれん草も売り上げが増えてきた。後継者づくりのひとつのステップになったのではないか」と、昨年を振り返られました。

ふるさとの自慢も、やはり農作物のことでした。「美杉、特に太郎生の自慢は、豊かな自然と豊富できれいな水。野菜作りの原点は水と

土。俱留尊山の火山灰と湧き水は宝だ」と胸を張られました。

今年の抱負を尋ねると、「まこもやほうれん草、みずなのハウス栽培の規模を拡大していきたい。太郎生の野菜を県内、特に市内へどんどん出荷していきたい」と、地域の農業振興への熱い思いを語られました。

これからの人生への夢もお伺いしました。「どこまでやれるかはわからないが、TPPや減反政策の転換でさらに厳しさを増していく農業を支え、野菜作りの担い手を育て、休耕地の解消に努力していきたい」と、お話の全てが野菜作りへの夢に終始しました。農業への熱い思いが伝わるお話でした。



黒木 涼さん (23歳)

今年の9月に24歳になられる黒木涼さんに、今年の抱負などをお聞きしました。

黒木さんは、八知で生まれ、3歳から現在の竹原にお住まいで、一昨年からは林業の仕事に就いておられます。

昨年中の印象に残る思い出は、「今年から3年間の予定で白山林業センターで研修が始まったのですが、そこで10人ほどの仲間ができ、みんなでバーベキューや南紀の方まで釣りに行ったこと」だそうです。「新しい仲間と以前から好きだった釣りに出かけられたこと」がよほど嬉しかったようです。



ふるさと自慢は「空がきれいなこと」、「小さい頃に育った八知でも、その後の竹原

でも、近所の方がみんな優しく、気さくに接して下さること」だそうです。本当に嬉しそうに話してくださいました。

今年の抱負を尋ねると、開口一番「大きなイカとチヌを釣ってみたい」という答えが返ってきました。よほど釣りが好きなのでしょう。「林業の仕事の手がまだ遅いので、先輩の皆さん方に迷惑をかけないように頑張りたい。今年も延べ8カ月ほどの研修があるので、一生懸命取り組んで、林業関係の色々な資格をとっていきたい」と、仕事のことも忘れません。

これからの人生の夢もお尋ねしました。「30歳までに結婚し、子どももできて、幸せな家庭を作りたい」のだそうですが、さらに大きな夢は「大先輩が育ててくれた木を切り出し、先輩が植えた木の枝打ちや間伐をし、自分が苗を植える。林業ははるかな時間を越えた壮大なリレーだ。後世に残る仕事に誇りを持って、これからも一生懸命続けていきたい」と、頼もしい答えが返ってきました。

各地区で秋まつり・文化祭が開催されました

11月に開催された各地区での秋まつり・文化祭の様子をご紹介します。



11/10 太郎生地区秋まつり

小学4年生（10歳児童）の2分の1成人式を行いました。

11/10 伊勢地秋まつり
恒例??バンド演奏への飛び入り参加で盛り上がりました。



11/10 やわた秋まつり

来場者もおひなさまも箏の音色に聞きほれていたようです。
【今年もたくさんの作品が並びました】



11/17 多気地区文化祭

大正琴やバンド演奏に、多くの方が聞き入りました。

11/24 竹原地区文化祭
みんな大好き宝つり。
どんな宝が釣れますか??



11/24 下之川地区文化祭

お目当ては?恒例の野菜即売会がはじまります。

「第4回歴史の郷ウオークと芝桜の植栽」

多気の郷元気づくり協議会

11月23日(土・祝)、紅葉の多気の郷で、第4回歴史の郷ウオークと芝桜の植栽が、晴天の下、北畠歴史探索コースで開催され、地域の食材を活かした昼食、道の駅での植栽など様々な「おもてなし」の心を伝えました。参加者の方から山々の紅葉の素晴らしさなど、感謝の言葉をいただきました。

このイベントは、老人クラブの方々、地域の方々の協力で行っています。

環境づくりの一環として始めた芝桜の植栽も、今回で4000株となり、昨年の春には見事に咲き誇り、道の駅の景観を盛り上げました。

今年の春は、皆さんも是非、道の駅「美杉」へ足を運んでみてください。



< 昨年の開花状況 >



北畠神社庭園ライトアップ

11月16日から24日の土、日に、北畠氏館跡庭園のライトアップを私たち霧山奉仕会のメンバーが中心となり、昨年初めて実施しました。大変多くの方に訪れていただき、昼の庭園の趣とは違う幻想的な風景に感動していただきました。特に、水面に映る紅葉を食い入るよう見つめられていました。今後もぜひ継続できるように頑張りたいと思います。



津市美杉総合文化センター 建築工事の進捗状況

津市美杉総合文化センター建築工事は、本体の屋根、外壁、サッシ等の工事がほぼ終了しました。



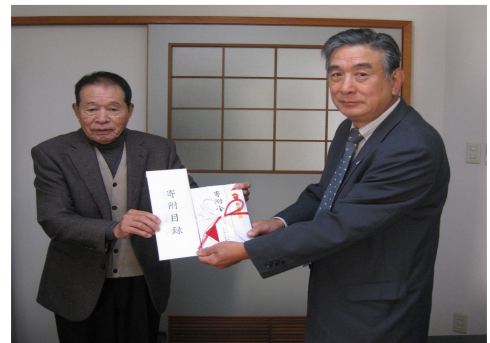
内部の様子(玄関ロビー、ホール入口)

今後は、内装工事や外構工事が進められます。

美杉町チャリティゴルフ実行委員会 から美杉地区社会福祉協議会へ寄贈

12月5日(木)、美杉ゴルフクラブで9月4日に開催されたチャリティゴルフ大会(162人参加)の寄付金が、鳥谷尾実行委員長から海住会長へ寄贈されました。

このチャリティゴルフ大会は毎年9月に行われており、今回は36回目の開催となりました。寄贈の際には、「美杉地域の社会福祉事業に役立ててください」と鳥谷尾実行委員長から声かけられました。



ゆかりの地「竹原」で ～小津安二郎作品上映会～

三重県が生んだ世界的映画監督小津安二郎。実は、監督の母は美杉町八手俣の出身です。12月8日(日)、竹原地域住民センターにおいて、小津監督の映画「東京物語」が上映されました。また、三重映画フェスティバル会長の吉村英夫さんによる講演もあり、小津作品の魅力や津市とのゆかりの深さなどをお話されました。参加者からは「竹原にゆかりがあると知らなかった」、「いい映画で感動した」といった感想が寄せられました。



「もちつき体験」竹原地域活性化協議会



12月8日(日)、竹原すずめのお宿においてももちつき大会が開催されました。

会場は昔ながらの杵と臼でもちつきを体験したり、つきたての餅やぜんざいに舌鼓を打つ町内外からの参加者で賑わいました。

民生委員・児童委員、主任児童委員の委嘱式がありました

12月1日(日)、津リージョンプラザにおいて平成25年12月1日から就任される民生委員・児童委員および主任児童委員代表に厚生労働大臣の委嘱状が、さらに主任児童委員代表には指名状が、前葉津市長から伝達されました。また、津リージョンプラザでの伝達式の帰途、竹原地域住民センターにおいて美杉地区の委員それぞれに、矢倉美杉総合支所長から委嘱状や指名状が伝達されました。

委員の任期は、平成25年12月1日から3年間となっています。

民生委員・児童委員は、身近な福祉の相談役として地域で活動していただきます。また、主任児童委員は、民生委員・児童委員のうち児童福祉に関する事項を専門に担当し、活動していただきます。

(いずれの表も氏名の敬称省略)

民生委員・児童委員		
池田 勝之	福地 克司	木下 弘子
横谷 鈴子	日置 智子	磯田 百合子
岡田 恒幸	布生 和久	結城 洋子
渡邊 宏一	金澤 博子	田中 稔
林 美枝	佐野 康成	海住 京子
大日川 司良	樋口 みわ子	黒田 ひで子
田中 昭代	山内 節子	横山 勝子
生駒 勝造	中尾 安志	渡邊 いく子
藤田 香代	西山 政志	茨木 幸夫
岡本 喜郎	森川 眞理子	横山 立夫
奥坂 ひで	原田 稔生	
今井 征男	小林 庄一	

主任児童委員
松本 富子
高田 如恵



◆退任されました民生委員・児童委員、主任児童委員の感謝状伝達式を行いました

11月30日付けでご退任されました民生委員・児童委員、主任児童委員に、厚生労働大臣と三重県知事の感謝状および津市と美杉民生委員児童委員協議会からの記念品を矢倉美杉総合支所長から伝達しました。

(いずれの表も氏名の敬称省略)

民生委員・児童委員	
中子 敏彌	芝山 町代
松田 隆男	鳥谷尾 きみ子
瀧本 道子	海住 栄子
山本 孝道	平岩 美八子
藤田 勝也	横山 家一
岡野 幸恵	廣田 香代子
鏡 隆久	
主任児童委員	
中林 優子	藤田 成子



「ふるさと遠足」を実施 ～美杉中学校～



美杉中学校は、前年に引き続き、美杉青少年育成推進協議会との共催で、11月20日（水）に美杉町の大切な自然資源であるセラピーロードを歩き、健康の増進と体力の向上を図るとともにふるさとの歴史について学ぼうと、「ふるさと遠足」を実施しました。

今年は、全校生徒をA、B2つの縦割り班に分けて、それぞれの班が一つのコースを反対方向から出発しました。コースは、伊勢奥津駅～飼坂峠～ふるさと資料館～道の駅美杉（昼食）～



北畠神社～霧山城址～比津駅までの11.6kmでした。

ときどき小雨の降る肌寒い日となりましたが、生徒は、語り部の皆さんから説明を受け、南北朝時代の美杉の歴史に思いをはせたり、霧山城から見る山々の紅葉に感動したりしながら、楽しく有意義な1日を過ごしました。

子ども人権フォーラムを開催

11月28日（木）、美杉総合開発センターで、美杉中学校区子ども人権フォーラムが行われました。子ども人権フォーラムは、毎年行われていて、美杉中学校の1年生27人と、美杉小学校の6年生19人が、グループに分かれて人権について考えました。

講師には「エンパワメント みえ」の代表をしてみえる、志治 優美先生を招き、前半は、志治先生の「ちがいのちがい」というテーマで、『聴覚障がい』について学びました。後半は、6つの小グループで、「伝える」というキーワードのもと、ワークショップを行いました。中学生のリードで話し合いを進めたり、グループに入った先生を巻き込んで体験をしたりと、どのグループもしっかり活動ができました。

すぐに答えを出さずに、立ち止まって考えてみることの大切さや、相手の立場に立ちいろいろな方法で気持ちを伝えることを体験しました。1時間半という短い時間でしたが、子ども達は、交流をしながら楽しく学ぶことができました。



いつまでも、健康で元気に！

健康づくりウオークin美杉（セラピーロード：北畠歴史探索コース）が開催されました

～ 仲間と歩けば、愉快！愉快！ ～

11月28日（木）、津市南老人クラブ連合会が、森林セラピーを満喫する健康づくりウオークを初めて企画し、一志地域（17人）、香良洲地域（12人）、白山地域（9人）、美杉地域（28人）の合計66人の方が参加され、会員相互の親睦と健康増進を目的に、森林セラピーロード（北畠歴史探索コース）で、ノルディックウオーキングに挑戦されました。

当日は、天候にも恵まれ、開会の際は少し肌寒い気候でしたが、津市森林セラピー基地運営協議会の皆さんによるノルディックウオーキングの説明や、専用のポールを使った歩き方や、歩く姿勢の実技指導、全員で準備体操などを行った後、ウオーキングが始まりました。実際のウオーキングになると体も温まり、参加者の皆さんは深まる秋の景色を眺めながら会話も弾み、「清々しい気持ちだ」とか「深呼吸できてすっきりした」などと話しながら、楽しくウオーキングされていました。

また、北畠神社では、宮司さんの説明を聞き、いにしへの多気の地に思いをはせていました。



（寄稿）津市森林セラピー基地運営協議会 君ヶ野拠点部会長 瀧川隆雄

君ヶ野湖畔セラピーウオークとレークサイド君ヶ野「セラピー御膳」

11月17日（日）、全長10.7km。君ヶ野拠点部会が開催したセラピーウオークの距離では、一番長いコースとなりました。1週間前からの寒波で一気に紅葉が始まり、落ち葉を踏みながらの最高のロケーションとなりました。

広報「津」で紹介していただいたおかげで早々に多くの方から参加の申し出があり、特に町外の方にたくさん来ていただきました。（参加者数＝55人）

カメラを片手に木々の紅葉やダム湖畔の景色を写真に収める人、早足で歩く人、おしゃべりを楽しみながら歩く人、それぞれが自分のペースに合わせて、和気あいの雰囲気の中で歩いていただくことができました。

部会のメンバーの好意で、今回初めて移動式トイレを設置することができ、手洗いの水まで準備されていたため、参加者から「至れり尽くせり」と喜んでいただきました。今回は、休憩地からさらに2kmのところまで折り返しになるため、本当に設置することができてよかったと思いました。

帰り道は、さすがに足の疲れが出てきたため、予定の時刻より遅れてしまいましたが、「セラピー御膳」をレークサイド君ヶ野の大広間でいただきました。アマゴの塩焼きをメインに地元の旬の野菜の天ぷらなど多くの方から喜びの声をいただきました。展望風呂も用意されていて、入浴されてから帰られた方もみえました。地元農産物の販売も行われ、秋の一日を存分に楽しんでいただけたと思います。



JR名松線の利活用を考えるオープンディスカッション

第3回(最終回)を松阪市で開催

昨年の7月から始まった復旧後の名松線の利用促進策を考えるオープンディスカッションの最終回が、11月30日(土)に松阪市産業振興センターで開催され、名松線を守る会の会員26人や松阪市民10人など、51人の方が参加しました。

ディスカッションに先立ち挨拶に立った津市の森川担当理事は、「名松線は、古くから産業経済の交流手段だった。今は少し異なるが、通学、通院、買い物に必要な交通手段に変わりはない。これからも利活用の促進に取り組んでいく」と、市の決意を述べました。

また、コーディネーターの伊豆原愛知工業大学客員教授は、全国の鉄道路線の状況を説明された後、「6年ぶりの復旧というのは、めったにないこと。名松線を上手に使うことが、全国へのメッセージ、PRにも繋がる」と、ディス



カッションでの成果に期待を述べられました。

この後、喫茶店での自由な話し合いをイメージした8つのオープンカフェに分かれて、意見交換が行われました。このオープンカフェのうちの3つのカフェのマスター(進行役)には参加した高校生が自ら名乗りを上げ、若々しく新鮮な雰囲気の中での意見交換になりました。

オープンカフェでは、「駅から先のコミュニティバスを便利なものにならないと意味がない」、「森林セラピーとコラボでアピールすべき」、「美杉には観光地はたくさんあるが、それを結ぶ交通網がない」、「3回の廃線の危機を



乗り越えた『幸運な路線』を売り物に」などといった具体的な意見がたくさん出されました。

最後に講評に立たれた伊豆原教授は、「これからの2年間でどう過ごすかが問われる。3回のディスカッションを踏まえて、市とともに住民の皆さんにメッセージを出していく。いつまでも残していく仕組みづくりが大切だ」と、今後の取組みに期待を寄せられました。

美杉地域で巻き起こった名松線の復旧を求める運動が、6年のときを経て、ようやく実現しようとしています。この運動が、名松線を単に6年前に戻すのではなく、地域住民の方々や地域外から訪れてくださるの方々にとってより利用しやすいものにしていかなければなりません。

私たちの美杉地域でも、後期基本計画地域かがやきプログラムの南部エリアが目指す「地域の実情に合った利用しやすい公共交通システムの整備」に向けた取組みを加速しなければならないと思います。



防災メモ

☆地震に備えましょう！！(家の外編)

◇玄関には、自転車や植木鉢など、出入りの支障となるものは置かないように心がけましょう。

◇ベランダは整理整頓し、落下する危険がある物や、エアコンの室外機は配置換えをしたり、固定しましょう。

◇雨どいの継ぎ目がはずれていないか、落ち葉や土砂などが詰まっていないか、また、雨戸のたてつけも確認しましょう。

◇プロパンガスなどは、倒れないようにしっかりとした土台の上に置き、鎖で壁面に固定しましょう。

◇ブロック塀の、ひび割れや傾きを補修しましょう。

美杉人権を考えるつどい

12月8日(日)、美杉総合開発センター大集会場で「美杉人権を考えるつどい」が開催され、90人余りの方が来場されました。第1部は小・中学生による人権作文の発表と、教育集会所中学生学習会メンバーによる発表がありました。中学生の発表は、夏休みに中部盲導犬総合訓練センターへ社会見学に行った時の感想と、校外学習で松浦武四郎がアイヌ人に対する差別と闘ったことや、水平社発祥の地で、部落差別と闘ってきた人たちの生き方を学んだことを発表しました。第2部は、京都市立安朱小学校副教頭の川端宏幸さんに「シロクマ先生の深い話～目を凝らして耳を澄まして～」と題し、ご講演いただきました。



津市自主防災協議会美杉支部避難計画策定研修事業

11月26日(火)、美杉総合開発センター周辺で自主防災協議会を対象にした、避難計画策定研修会が行われました。これは、災害時に備えて、日頃から地域の危険箇所や消火栓の所在などを実際に見て・歩いて確認し、地域の情報を地図に書き込んで作成する「タウンウォッチング」と言われる手法を用いて行われたもので、参加された自主防災協議会の方々は、地域の防災に役立てようと終始熱心に取り組まれていました。また、三重大学生物資源学研究科教授 葛葉 泰久氏を講師にお迎えし、「自然災害とその備え」と題した講演会も行われ、三重県が策定した、美杉地域の危険であると予測される地域の地図が映像で紹介されると、参加された自主防災協議会の方々は、真剣な表情で耳を傾けていました。参加された方の中には、今後は、各地域の自治会単位でもこのような機会を設け、自主防災組織の更なる組織づくりが出来ればと話していました。

☆各地区自主防災協議会参加者約40人が参加して行われたタウンウォッチングの様子⇒



1月健康相談

下之川地域住民センターで血圧測定や尿検査等の健康相談を無料で実施しています。是非ご利用ください。

日時 7日(火)・21日(火) 9時30分～12時30分

場所 下之川地域住民センター

問い合わせ 相談時のみ ☎276-0333

相談日以外 ☎272-8084 (美杉総合支所市民福祉課)

三重県立一志病院健康教室

入場無料 申し込みは不要です。

第3回 『吸ってる人も吸ってない人も知って欲しいたばこの ひ・み・つ』

講師：野口 正満 (一志病院医師)

日時 1月14日(火) 13時～14時 場所 一志病院管理棟2階会議室

問い合わせ 三重県立一志病院 外来 津市白山町南家城616

☎262-0600 (内線110) FAX262-3264 電子メール ihos@pref.mie.jp

美杉保健センター**健康相談のご案内**

保健師・栄養士による健康相談を行います。

お気軽にご利用ください。

(要予約 ☎272-8089)

日時：1月28日(火) 9時30分～11時

場所：美杉総合開発センター

持ち物：健康手帳・健康診査の結果(お持ちの方)

美杉図書室休館のお知らせ

津市美杉総合文化センター整備事業に伴い、美杉図書室も移転いたします。移転準備のため、

2月1日(土)から3月30日(日)まで休館

させていただきます。よりたくさんの方にお越しいただけるよう新しい美杉図書室オープンに向けて準備しております。ご迷惑をおかけしますが、よろしく願いいたします。

～森もり元気になろに！美杉～ (健康づくり推進員) からのお知らせ**お待たせしました!! 料理教室を開催します**

今回は、身近な食材「じゃがいも」を使った料理を計画しました。私たち“健康づくり推進員”と一緒に、いつもと少しちがうじゃがいも料理に挑戦してみませんか?ご家族・お友達をお誘いの上、ぜひご参加ください!

※「森もり元気になろに！美杉」は、みなさんと一緒に健康づくりを考えていく団体です。津市健康づくり推進連絡協議会美杉支部として活動しています。

日時：1月17日(金) 10時～14時

場所：美杉総合開発センター 調理室

定員：先着24人

参加費：400円(材料代・保険代含む)

持ち物：エプロン・三角巾・ふきん・手拭きタオル

申し込み：1月6日(月)から

美杉保健センター (☎272-8089)



【電話番号】美杉総合支所

地域振興課 059(272)8080・8082・8085

市民福祉課 059(272)8083・8084

※主な電話番号を記載しましたが、その他の電話番号などは、電話帳でお調べいただくか、美杉総合支所へお問い合わせください。

行政相談日程

日時：1月16日(木) 13時30分～15時

場所：伊勢地地域住民センター